

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                    |            |        |              |
|----------------|--------------------|------------|--------|--------------|
| ○事業所名          | 放課後等デイサービスふれあい・五日市 |            |        |              |
| ○保護者評価実施期間     | 2024年 12月 20日      |            | ～      | 2025年 1月 15日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)             | 28名 (27世帯) | (回答者数) | 24名 (24世帯)   |
| ○従業者評価実施期間     | 2024年 12月 20日      |            | ～      | 2025年 1月 15日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)             | 9名         | (回答者数) | 9名           |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 1月 31日       |            |        |              |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※) だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること                                     | 工夫していることや意識的に行っている取組等                                                                                                                                                       | さらに充実を図るための取組等                                                                                           |
|---|---------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 子どもたちの特性を理解した上で、ありのままを受け入れ、その子の「気持ち」に着目するとともに、肯定的側面にも目を向け、子どもたちに寄り添った支援ができています。 | ・子どもたちを一人ひとりをしっかり観察し、スタッフ同士でちょっとした子どもたちの変化や気づきを共有し、子どもの理解を深めている。<br>・子どもたちの小さな変化や芽生えを見逃さず、自己肯定感を高めていけるような声掛けを行っている。                                                         | ・単なる行動観察にならないよう、今の子どもの姿がどんな苦しさがあるのか、どんな特性があるのかなど、整理・分析できるケース会議の充実を図っていく。                                 |
| 2 | ・障害の特性や程度、年齢の幅も広く受け入れしており、一人ひとりの発達段階にあったオーダーメイド療育の提供、必要に応じて個別対応を行っていること。        | ・活動内容やその日の子どものメンバーを考慮し、安定した支援、個別対応がしっかりできるような人員体制を取っている。(標準人員+2名以上の配置を毎日している)<br>・同じ活動の中でも、その子の「できた」という達成感が味わえるように、内容を工夫している。<br>・子どもが納得感をもって行動できるように、その子の分かる方法で伝えるようにしている。 | ・子どもたちの発達段階に合わせた療育を提供していくために、スタッフのスキルアップ、自己研鑽を重ねていく。<br>・職員一人ひとりの気づきを職員全体の気づきとして、次の支援へと繋げていき、共通理解を深めていく。 |
| 3 | ・土曜日や長期休みには、様々な体験ができるようにお出かけやクッキングなどの行事を実施していること。                               | ・子どもたちにとっては楽しい、やってみたいと思える活動を子どもたちが主体的に取り組む中で、学びや成長につながるよう活動プログラムやスケジュールを考えている。                                                                                              | ・安全に配慮しながら、様々な経験ができるよう活動内容を考えていく。<br>・新たな取り組みなどにも挑戦していきたい。                                               |

|   | 事業所の弱み(※) だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること                   | 事業所として考えている課題の要因等                                                                                                         | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                                           |
|---|---------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 1 | 非常時の対応や安全確保、各種マニュアルは整えているが、その取り組みについて、保護者様へ情報が伝わりにくい状況になっている。 | ・月間スケジュールは子どもたちが行きたい、楽しそうと思える内容を活動プログラムとして載せている。避難訓練などの活動については載せていなかった。<br>・各種マニュアル等については契約時に説明しており、発信の頻度が少ない。            | ・子どもたちの安全を守る取り組みについて、保護者様と共有できる仕組みづくりを検討していく。                  |
| 2 | 児童の活動の様子の詳細な共有<br>(保護者様からもっと写真が見たいというご意見を多くいただいた)             | ・連絡帳でその日の様子を文章でお伝えしている。写真撮影にばかり気を取られ質の低下に繋がってはいけないうこと、個人情報の観点から、日々の様子を写真で共有があまりできていない。<br>・SNSで活動の様子を発信しているが、あまり周知されていない。 | ・個人情報に留意しながら、情報提供していく。<br>・連絡ノートを含め、より効率的な保護者様との連絡ツールの検討をしていく。 |
| 3 | 保護者様同士の交流の機会の提供がコロナ禍意向できていない状況。                               | ・昨年度は、保護者様が参加できる行事を企画したが、お仕事の都合などもあり、参加率が非常に低かったため、今年度は企画していなかった。                                                         | ・保護者様が参観できる機会などの検討を行う。                                         |